

第144回 令和7年12月15日（月）

「使い捨てる時代について。」

「テセウスの船」というお話をご存じですか？テセウスさんの船が老朽化に伴い部品を少しずつ交換していきます。やがて全部の交換が行われたとき、それは本当にもともとあった「テセウスの船」と言えるのか？という難問です。

さらに交換していらなくなった古い部品を集めてもう1隻船を造ったと仮定すると、いったいどちらが本当のテセウスの船なのでしょう？

このあいだ家の wi-fi が故障しました。モデムとルーターのどちらが故障しているのかわかりませんが、とりあえず wi-fi がつながらないし家の固定電話も使用不可でした。

困って地元の携帯ショップに電話をしました。回答は「買い替えならばご相談できますが修理の依頼は取り扱いできない」とのこと。カスタマーセンターに電話をとのお話でしたが、この電話が混雑していてまったくつながりません。幸い何回かかけてモデムの交換で決着しましたが、あきらめて新しい機械に買い替えてしまう人も多いのではないかと思います。

現代は「修理するなら買ったほうが安い」時代です。電化製品はある程度寿命があって、それを過ぎると故障が多くなるものなのかもしれません。

今回右腕を骨折しました。右ひじの関節のところの骨が4つに割れてしまって、場合によって人工の骨頭を入れることも覚悟しなければいけないということでした。

でも主治医から「年齢も若いのでできるだけ今の骨を活かす」という方針で、釘を打って骨を固定しました。

骨がくっつくかどうかは年内の様子を見ないとわからないということですが、やっぱり体はできるだけ取り替えないほうが良いのだなと思いました。

未来には IPS 細胞などで悪いところはどんどん取り替える時代になるのかもしれませんが。もしかすると遺伝子を調べて悪くなくても予防で交換することすら現実味を帯びてきました。

果たしてどこまでが「テセウスの船」なのか。改めて考える時代になるかもしれません。